

『モーニング』で連載中の 人気マンガ「インベスターZ【四季報編】」を 『会社四季報オンライン』で4週連続同時掲載！

<http://shikiho.jp/tk/news/articles/0/75645>

株式会社東洋経済新報社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山縣裕一郎）は、『会社四季報オンライン』にて4週連続（7月16日、7月23日、7月30日、8月6日）で、『モーニング』（講談社）に掲載される投資マンガ「インベスターZ【四季報編】」を同時掲載いたします。

主人公の財前孝史が「会社四季報」オタクのクラスメートを通して、日本を代表する企業たちの歴史を学んでいきます。日本経済の歴史を学ぶ楽しさを知った主人公たちは、「会社四季報」の研究を本格的に始め、思わぬ株式投資の本質に触れていき、「会社四季報」を題材にしたさらなる深いストーリーが展開されます。

個人投資家のバイブル『会社四季報』と大人気の投資マンガ『インベスターZ』との夢のコラボレーションにどうぞご期待ください。

インベスターZとは

2013年6月に『モーニング』（講談社）で連載を開始し、単行本は9巻まで刊行中。作者は『ドラゴン桜』を手掛けた三田紀房氏。

ストーリーは、創立130年の中高一貫進学校・道塾学園にトップで合格した中学1年生の財前孝史が、各学年成績トップのみが参加する秘密の「投資部」に入部するところから始まる。部員の使命は3000億円を投資で運用し、年8%以上の利回りを生み出すこと。そのため創立以来、最高水準の教育設備を誇る道塾学園は学費が無料という設定。

財前家と学園創設家との因縁や、日本経済の歴史を絡めながら、投資を通じて主人公が成長していく姿を描いている。

会社四季報とは

年4回発行。1936年創刊、日本の全上場企業約3600社の会社情報、財務状況をすべて網羅した一冊。記者の独自取材に基づく最新情報を四半期ごとに提供、圧倒的なシェアを誇るナンバーワン企業情報誌。ビジネスパーソンや個人投資家のバイブルともいわれる。その独自の業績予想は世界の投資家からも信頼を集め、幅広く利用されている。



【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 東洋経済新報社デジタルメディア局

TEL：03-3246-5530 井川 寛／笠間勝久

未来が、面白くなる。

東洋経済新報社

corp.toyokeizai.net